

# 平成27年8月期第2四半期 決算説明資料

平成27年4月23日

株式会社 大庄



DAISYO CORPORATION

～「日本の台所」になる～

市原サービスエリア提供:「宝石丼」  
～「第2回NEXCO東日本どんぶり王座決定戦」にて準グランプリを受賞

## 目次

## I. 27/8月期第2四半期決算の概要

新規出店・改装店実績	P. 4
都道府県別 グループ店舗数	P. 5
売上高	P. 6-8
連結営業利益	P. 9
連結経常利益・当期純利益	P. 10
連結特別損失	P. 11
連結貸借対照表(B/S)	P. 12
連結キャッシュ・フロー	P. 13
関係会社の状況	P. 14

## II. 今後の経営計画及び具体的施策について

27/8期 通期計画(連結ベース)	P. 16
27/8期 店舗計画	P. 17
27/下半期計画の策定骨子	P. 18
中期経営計画(連結ベース)	P. 19-20
「業務構造改革」の取組状況について	P. 21-24
27/下半期の戦略方針	P. 25

# 27／8月期第2四半期決算の概要

DAISYO CORP.

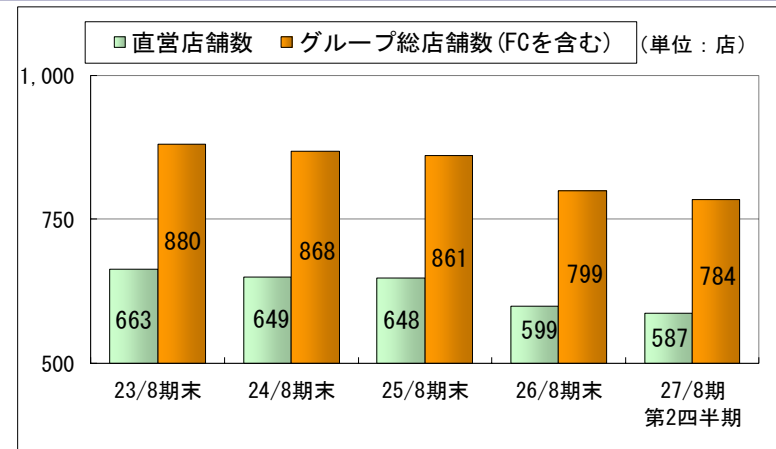
【単位：百万円】

連 結		26/8期 第2四半期	構成比	27/8期 第2四半期	構成比	前期比 増減	増減率
	売上高	36,830	100.0%	35,414	100.0%	▲1,415	▲3.8%
	営業利益	▲443	▲1.2%	▲534	▲1.5%	▲91	—
	経常利益	▲494	▲1.3%	▲544	▲1.5%	▲49	—
	当期純利益	▲528	▲1.4%	▲443	▲1.3%	85	—

単 体		26/8期 第2四半期	構成比	27/8期 第2四半期	構成比	前期比 増減	増減率
	売上高	32,113	100.0%	30,632	100.0%	▲1,481	▲4.6%
	営業利益	▲463	▲1.4%	▲614	▲2.0%	▲150	—
	経常利益	▲509	▲1.6%	▲620	▲2.0%	▲111	—
	当期純利益	▲511	▲1.6%	▲477	▲1.6%	33	—

# 1. 新規出店・改装店実績

	27/8期 第2四半期
新規出店	2
店舗改装	6
閉店	14



## 業態別明細

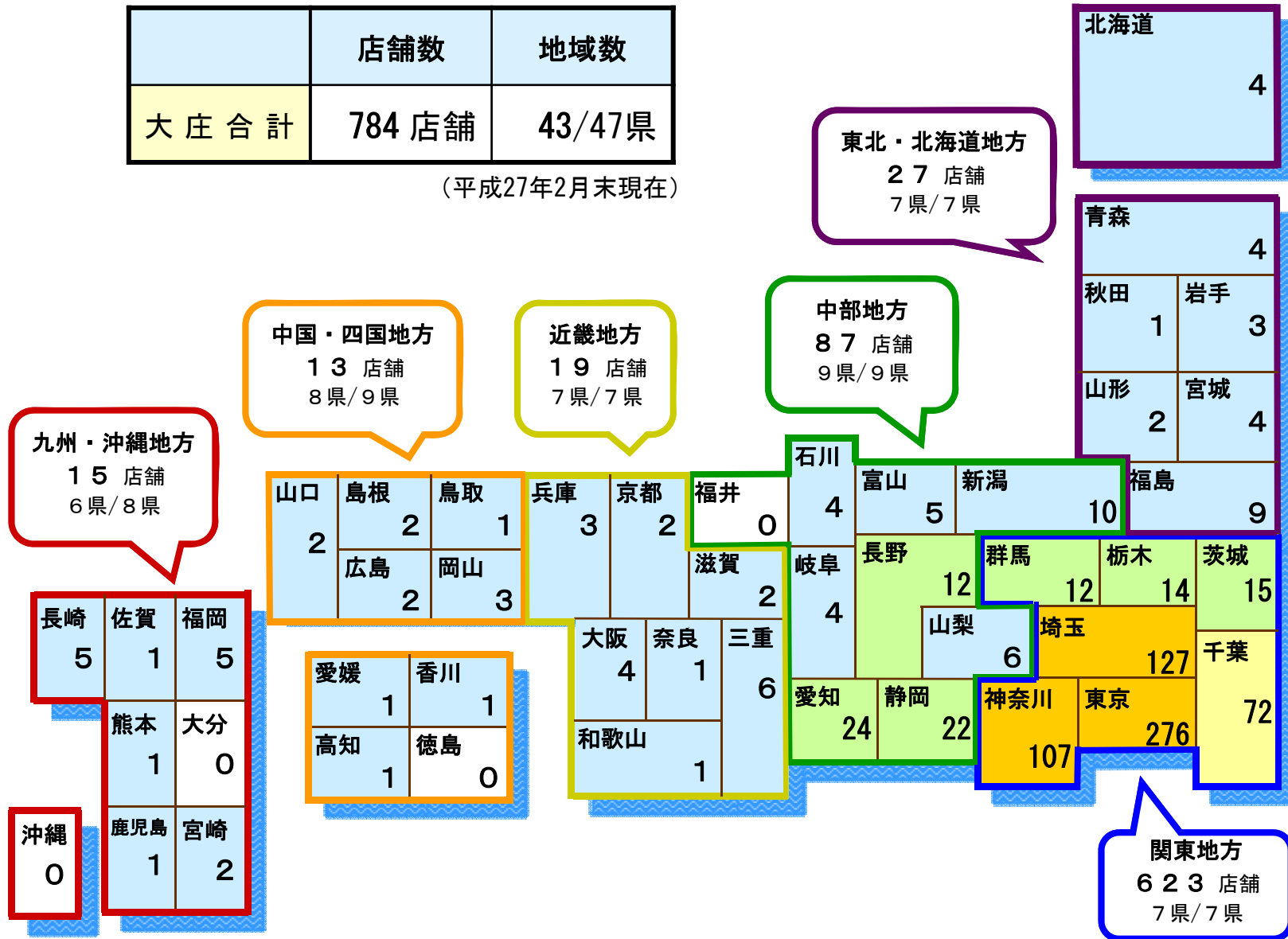
	26/8期	新規出店	改装	(うち、業態変更)		閉店	増減	27/8期 第2四半期
庄や	211		2	(2)	(▲1)	▲2	▲1	210
日本海庄や	114	1	1	(1)	(▲2)	▲1	▲1	113
うたうんだ村	70		1			▲1	▲1	69
やるき茶屋	58					▲1	▲1	57
築地日本海	22					▲2	▲2	20
大庄水産	19	1				▲1	0	19
築地寿司岩	20					▲2	▲2	18
塩梅	11		1				0	11
呑兵衛	8						0	8
大福水産	6						0	6
大和路	4						0	4
中の濱	3						0	3
浜の母や	4					▲1	▲1	3
榮太郎	4					▲2	▲2	2
その他	45		1	(1)	(▲1)	▲1	▲1	44
大庄合計	599	2	6	(4)	(▲4)	▲14	▲12	587

# 2. 都道府県別 グループ店舗数

	店舗数	地域数
大庄合計	784 店舗	43/47 県

(平成27年2月末現在)

0 店舗
1~10 店舗
11~30 店舗
31~100 店舗
101~ 店舗

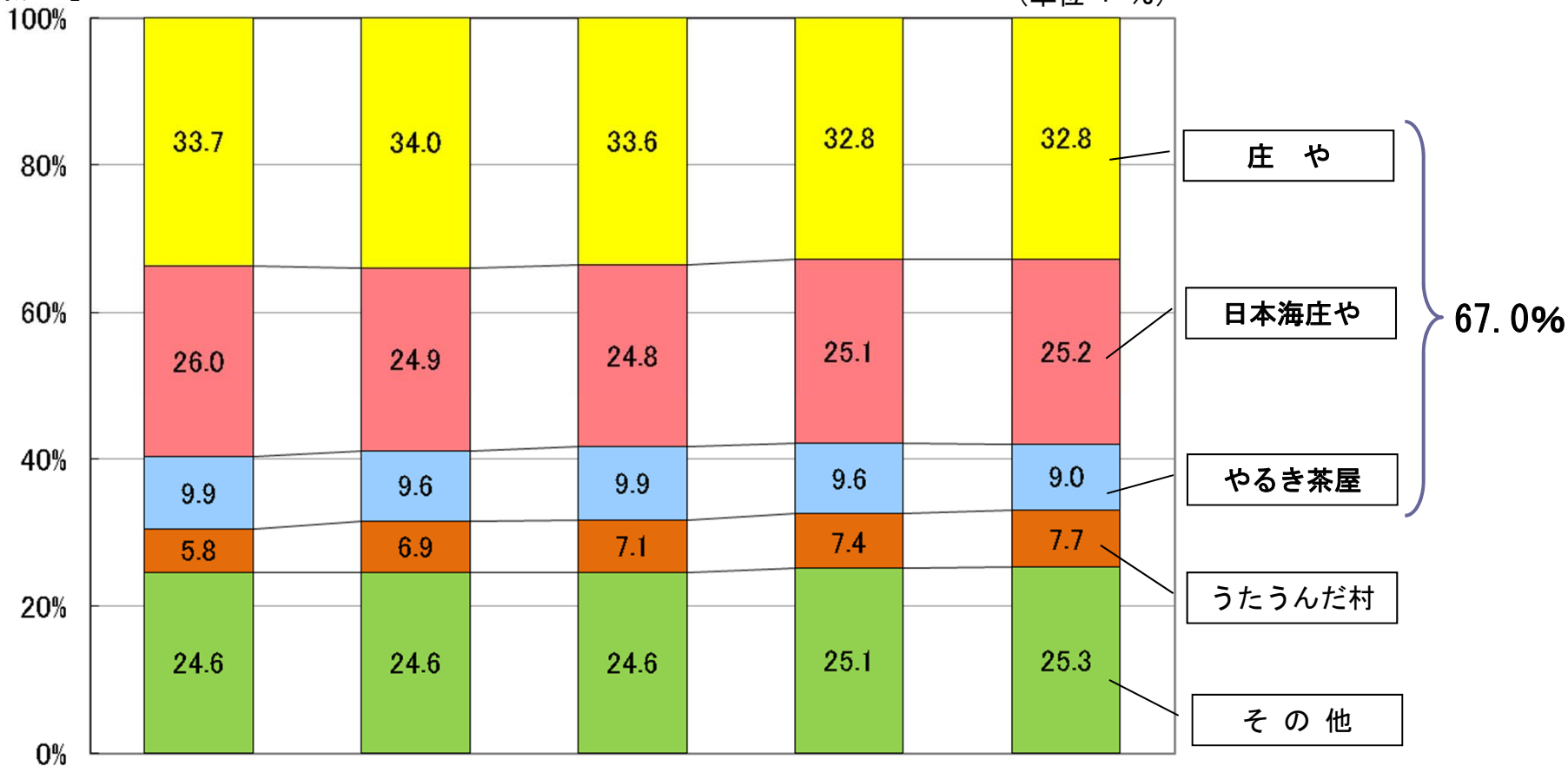


# 3. 売上高

## (1) 業態別・店舗売上高構成の推移

【構成比】

(単位：%)



店舗 売上高 (百万円)	23/8期 第2四半期	24/8期 第2四半期	25/8期 第2四半期	26/8期 第2四半期	27/8期 第2四半期
		34,704	33,151	32,151	30,338

▶ 主要3業態で店舗売上高の約7割を占める

# 3. 売上高

## (2) 既存店売上高（対前年比）

### <月別推移表>

→ ※「業務構造改革」が一巡した

	25/8期	26/8期	9月	10月	11月	12月	※ 1月	※ 2月	3月
売上高	98.7%	93.5%	94.1%	96.7%	94.7%	97.0%	105.5%	114.3%	103.9%
客数	100.5%	93.6%	93.7%	95.5%	93.3%	94.8%	103.8%	112.2%	102.5%
客単価	98.3%	99.8%	100.4%	101.2%	101.5%	102.3%	101.7%	101.9%	101.4%

※ 1. 9～12月は、営業時間短縮が大きく影響した

2. 1月以降は、「業務構造改革」の成果実現による（2月は昨年大雪の反動も）

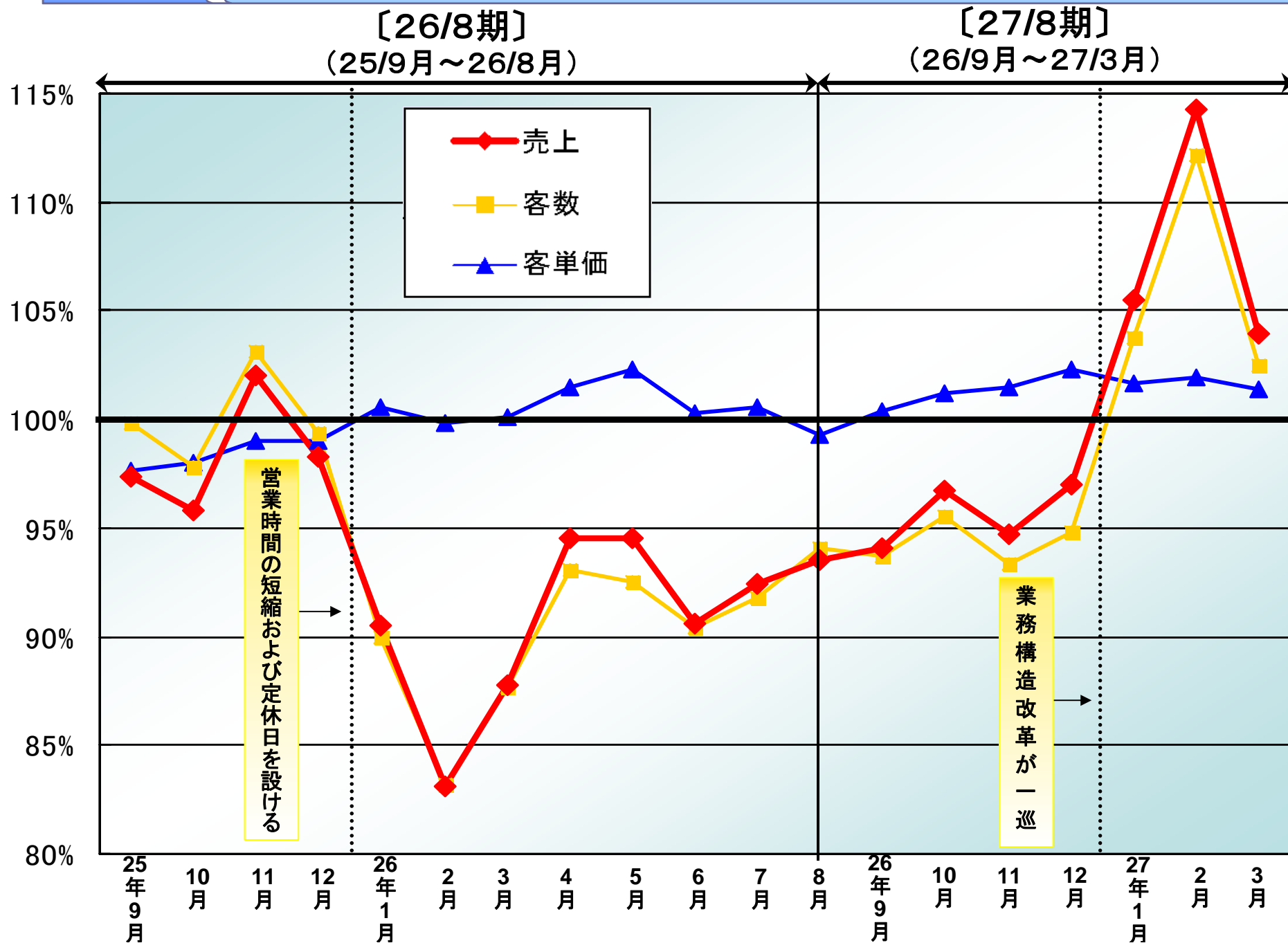
### <カテゴリー別実績前年比>

	昼	宴会	夜フリー	27/2期 累計
売上高	100.0%	93.6%	100.7%	99.6%
客数	99.6%	92.6%	98.1%	98.1%
客単価	100.4%	101.0%	102.7%	101.5%

### <カテゴリー別売上構成比>

	昼	宴会	夜フリー
25/2期累計	13.7%	14.6%	71.7%
26/2期累計	14.6%	14.5%	70.9%
27/2期累計	14.4%	13.5%	72.1%
前期増減率	▲0.2%	▲1.0%	+1.2%

(3) 既存店売上高・客数・客単価の対前年比月別推移





# 4. 連結営業利益の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成26年8月期 第2四半期実績		平成27年8月期 第2四半期実績		増減額		備考
		構成比		構成比		比率差	
売上高	36,830	100.0%	35,414	100.0%	▲1,415	—	
売上原価	13,915	37.8%	13,228	37.4%	▲686	▲0.4%	
売上総利益	22,915	62.2%	22,186	62.6%	▲729	+0.4%	
人件費	12,693	34.5%	12,644	35.7%	▲49	+1.2%	
地代家賃	3,814	10.4%	3,586	10.1%	▲227	▲0.3%	
水道光熱費	2,035	5.5%	1,851	5.2%	▲183	▲0.3%	
減価償却費	986	2.7%	890	2.5%	▲95	▲0.2%	
販促・広宣費	833	2.3%	835	2.4%	1	+0.1%	
消耗備品費	638	1.7%	629	1.8%	▲9	+0.1%	
衛生費	525	1.4%	509	1.4%	▲16	+0.0%	
その他	1,831	5.0%	1,773	5.0%	▲58	+0.0%	
販売費及び一般管理費	23,359	63.4%	22,720	64.2%	▲638	+0.8%	
営業利益	▲443	▲1.2%	▲534	▲1.5%	▲91	▲0.3%	

# 5. 連結経常利益・当期純利益の内訳

DAISYO CORP.

【単位：百万円】

	平成26年8月期 第2四半期実績		平成27年8月期 第2四半期実績		増減額		備考
		構成比		構成比		比率差	
売上高	36,830	100.0%	35,414	100.0%	▲1,415	—	
売上原価	13,915	37.8%	13,228	37.4%	▲686	▲0.4%	
販売費及び一般管理費	23,359	63.4%	22,720	64.2%	▲638	+0.8%	
営業利益	▲443	▲1.2%	▲534	▲1.5%	▲91	▲0.3%	
営業外収益	40	0.1%	44	0.1%	4	+0.0%	
営業外費用	91	0.2%	54	0.2%	▲36	▲0.0%	
経常利益	▲494	▲1.3%	▲544	▲1.5%	▲49	▲0.2%	
特別利益	248	0.7%	375	1.1%	126	+0.4%	
特別損失	242	0.7%	252	0.7%	10	+0.0%	
税引前当期純利益	▲488	▲1.3%	▲421	▲1.2%	66	+0.1%	
法人税等	143	0.4%	141	0.4%	▲1	+0.0%	
法人税等調整額	▲103	▲0.3%	▲126	▲0.4%	▲22	▲0.1%	
少数株主損益	0	0.0%	5	0.0%	5	+0.0%	
当期純利益	▲528	▲1.4%	▲443	▲1.3%	85	+0.1%	

## 6. 連結特別損失の内訳

【単位：百万円】

項目	26/8期 第2四半期	27/8期 第2四半期	増減	備考
減損損失	168	171	2	
固定資産除却損	29	57	27	
店舗関係整理損	2	24	22	
固定資産圧縮損	42	—	▲42	
固定資産売却損	0	—	▲0	
特別損失	242	252	10	

# 7. 連結貸借対照表 (B/S)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	26/8期	27/8期 第2四半期	増減額		26/8期	27/8期 第2四半期	増減額
<b>流動資産</b>	13,374	15,726	2,351	<b>負債合計</b>	20,742	21,673	931
<b>現金</b>	9,084	11,427	2,343	<b>買掛金</b>	2,517	2,049	▲467
<b>売掛金</b>	2,487	2,296	▲191	<b>未払金</b>	2,895	2,551	▲344
<b>棚卸資産</b>	604	682	78	<b>借入金(長短)</b>	7,398	9,416	2,018
<b>短期繰延税金資産</b>	505	663	158	<b>社債</b>	1,550	450	▲1,100
<b>その他</b>	692	656	▲36	<b>リース債務</b>	925	778	▲146
<b>固定資産</b>	31,814	29,721	▲2,093	<b>資産除去債務(長短)</b>	1,272	1,222	▲50
<b>有形固定資産</b>	17,593	15,824	▲1,768	<b>賞与引当金</b>	241	666	425
<b>無形固定資産</b>	1,079	1,091	11	<b>その他</b>	3,941	4,537	596
<b>敷金・保証金</b>	11,180	10,793	▲386	<b>純資産合計</b>	24,446	23,773	▲672
<b>長期繰延税金資産</b>	1,492	1,492	0	<b>株主資本</b>	24,612	23,907	▲705
<b>その他</b>	469	519	50	<b>資本金</b>	8,626	8,626	—
<b>資産合計</b>	45,188	45,447	258	<b>資本剰余金</b>	9,908	9,908	—
				<b>利益剰余金</b>	6,680	5,975	▲705
				<b>自己株式</b>	▲602	▲602	▲0
				<b>その他包括利益累計額</b>	▲320	▲293	27
				<b>少数株主持分</b>	154	159	4
				<b>負債・純資産合計</b>	45,188	45,447	258

	26/8期	27/8期 第2四半期	増減額(率)
<b>有利子負債</b>	8,948	9,866	918
<b>現金</b>	9,084	11,427	2,343
<b>NET有利子負債</b>	▲136	▲1,561	▲1,425
<b>自己資本比率</b>	53.8%	52.0%	▲1.8%
<b>有利子負債依存度</b>	19.8%	21.7%	+1.9%

# 8. 連結キャッシュ・フロー

DAISYO CORP.

	平成26年8月期 第2四半期	平成27年8月期 第2四半期	増減額	【単位：百万円】
<b>1. 営業活動CF</b>	▲358	824	1,182	
税引前利益	▲488	▲421	66	
減価償却費	1,015	924	▲91	
減損損失	168	171	2	
賞与引当金純増減額	▲22	425	448	
その他各種引当金純増減額	▲41	157	199	
法人税等	▲371	▲105	266	
その他営業CF	▲617	▲327	290	
<b>2. 投資活動CF</b>	▲438	986	1,425	
有形固定資産の取得・売却による収支	▲699	714	1,413	
敷金・保証金の差入・回収純増減額	287	334	47	
その他投資CF	▲26	▲62	▲36	
※ フリーキャッシュ・フロー	(▲796)	(1,810)	(2,607)	
<b>3. 財務活動CF</b>	2,057	532	▲1,524	
長短借入金の純増減額	2,873	2,018	▲855	
社債の純増減額	▲342	▲1,100	▲757	
リース債務の返済支出	▲307	▲218	89	
配当金の支払額	▲165	▲166	▲1	
その他財務CF	▲0	▲0	▲0	
<b>4. 現金及び現金同等物の増減額</b>	1,260	2,343	1,082	

# 9. 関係会社の状況

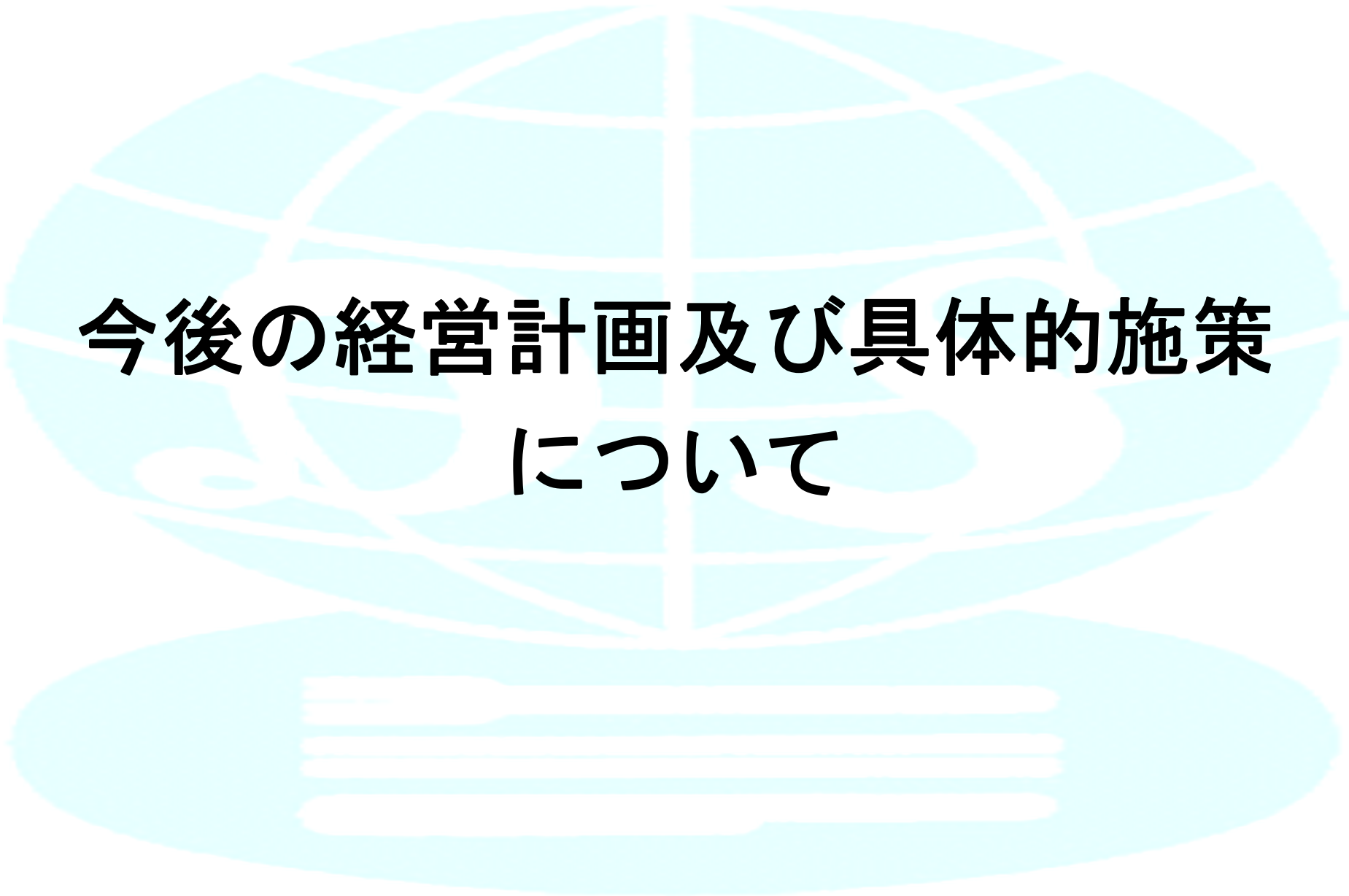
## ➤ 連結子会社

(単位：百万円)

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	27/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備考
米川水産(株)	生鮮魚介類等の 卸売業	東京都 中央区	90	2,024	100.0%	・築地市場での買参権を保有 ・外販部門の営業を強化
(株)ディ・エス物流	食材等の配送業	東京都 中央区	99	2,832	100.0%	・グループ店舗へ食材等を毎日一括配送 ・外部取引先への配送業務を強化中
(株)アサヒビジネス プロデュース	不動産賃貸管理 煙草・飲料販売	東京都 中央区	60	310	75.0%	・ソーシャルビルの転貸業務が柱 ・グループ店舗中心に「害虫駆除」事業を拡大中
(株)アルス	病院・事業用 給食施設の運営	東京都 大田区	80	1,173	63.0%	・柱である病院給食事業の収益基盤が確立 ・25年8月よりサービス付高齢者住宅事業を開始
新潟県佐渡 海洋深層水(株)	飲料水等の 製造・販売	新潟県 佐渡市	96	90	100.0%	・海洋深層水を利用したミネラルウォーターのOEM製造

## ➤ 持分法適用関連会社

	主要な事業内容	本社所在地	資本金	27/8期 第2四半期 売上高	議決権の 所有割合	備考
(株)エム・アイ・ プランニング	酒・飲料等の卸売・ 配送業	東京都 葛飾区	10	964	20.0%	・当社並びにF C店舗に酒・飲料等を卸売・配送



# 今後の経営計画及び具体的施策 について

# 27/8月期 通期計画(連結ベース)

DAISYO CORP.

(単位：百万円)

	26/上期 実績	27/上期 実績	増減	26/下期 実績	27/下期 計画	増減	26/8期 実績	27/8期 計画	増減
売上高	36,830	35,414	▲1,416	36,286	36,066	▲220	73,116	71,480	▲1,636
営業利益	▲443	▲534	▲91	▲610	1,454	2,065	▲1,054	920	1,974
経常利益	▲494	▲544	▲50	▲652	1,429	2,082	▲1,147	885	2,032
当期純利益	▲528	▲443	85	▲1,078	693	1,772	▲1,607	250	1,857

## <特別損失>

▶ 店舗改装、統廃合に伴う固定資産除却損等

	26/8期実績	27/8期計画
特別損失見込	915	510



# 27 / 8 月期 店舗計画

## (1) 新規出店

		27/上期 実績	27/下期 計画	27/8期 通期計画
連	結	2 店舗	3 店舗	5 店舗

## (2) 改装店舗

		27/上期 実績	27/下期 計画	27/8期 通期計画
連	結	6 店舗	9 店舗	15 店舗

## (3) 閉店

		27/上期 実績	27/下期 計画	27/8期 通期計画
連	結	14 店舗	6 店舗	20 店舗

# 27 / 下半期計画の策定骨子

## (1) 売上高

- ・「業務構造改革」の成果実現期として「既存店売上計画」は前年比105%で策定
- ・「業績不振店対策」として、店舗改装(業態転換)を強化

## (2) 売上原価

- ・「売上原価率」は、下半期37.3%(前年比▲1.1%)を見込む  
→ 単体ベースでは、下半期30.0%(前年比▲1.3%)

## (3) 販管費

- ・ 既存店舗の販管費は、総額でほぼ前年並みを見込む  
→ 減価償却費等はマイナス要因

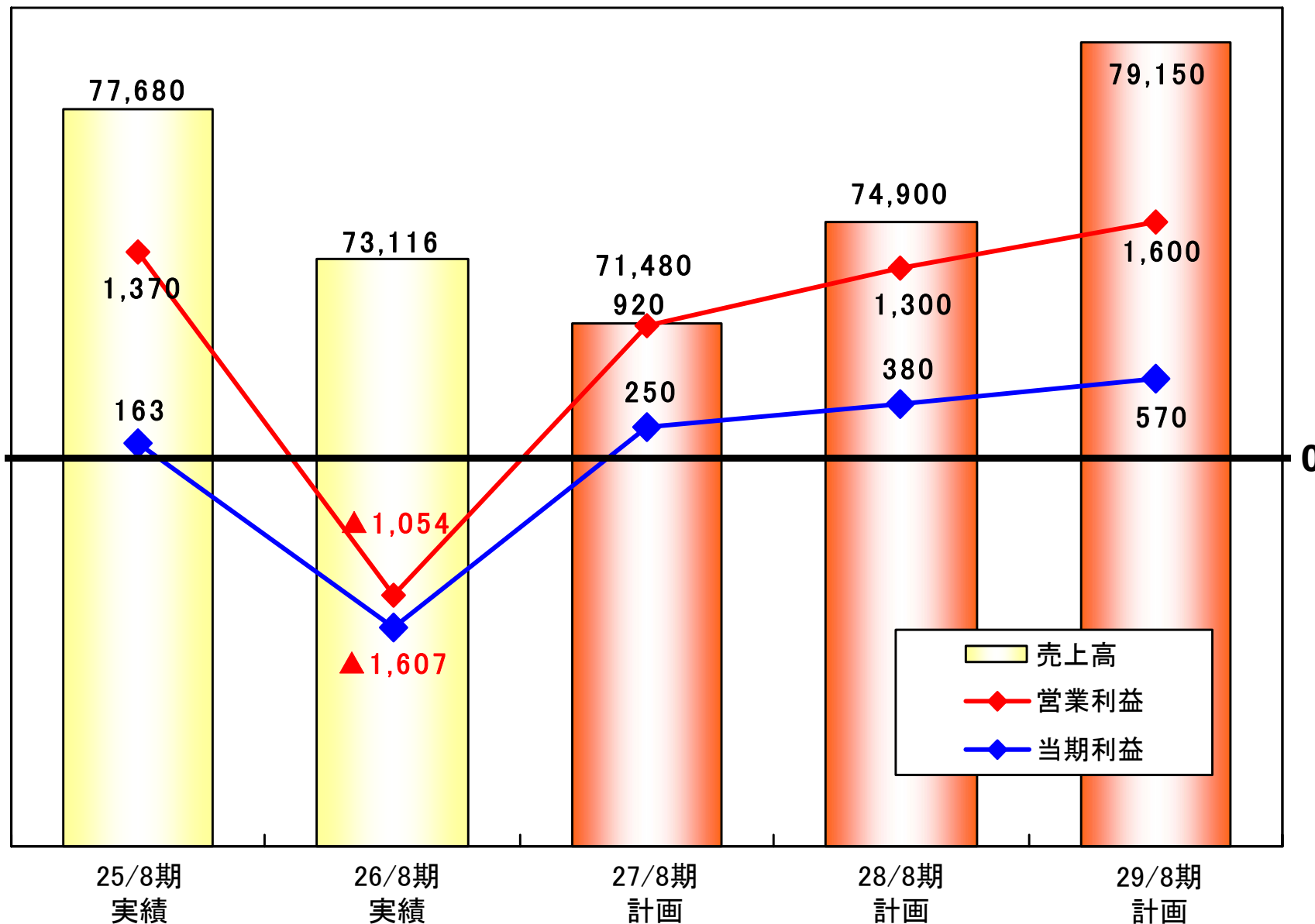
# 中期経営計画（連結ベース）

1. 28/8期以降は、「新規出店」戦略により再び規模拡大を目指す
2. 売上原価、販管費のコストコントロールにより収益性も改善を図る

	25/8期 実績	構成比	26/8期 実績	構成比	27/8期 計画	構成比	28/8期 計画	構成比	29/8期 計画	構成比
売上高	77,680	100.0%	73,116	100.0%	71,480	100.0%	74,900	100.0%	79,150	100.0%
営業利益	1,370	1.8%	▲1,054	▲1.4%	920	1.3%	1,300	1.7%	1,600	2.0%
経常利益	1,279	1.6%	▲1,147	▲1.6%	885	1.2%	1,225	1.6%	1,525	1.9%
当期純利益	163	0.2%	▲1,607	▲2.2%	250	0.3%	380	0.5%	570	0.7%
新規出店数	5 店舗	—	4 店舗	—	5 店舗	—	30 店舗	—	40 店舗	—
改装店数	10 店舗	—	16 店舗	—	15 店舗	—	20 店舗	—	20 店舗	—
閉店数	6 店舗	—	53 店舗	—	20 店舗	—	5 店舗	—	5 店舗	—
期末店舗数	648 店舗	—	599 店舗	—	584 店舗	—	609 店舗	—	644 店舗	—

# 通期連結売上高・営業利益・当期純利益の推移

(単位: 百万円)



## 1. 店舗オペレーション体制の再構築

- (1) 平成26年1月にスタートした「総店舗営業時間数」の見直しは12月で一巡
  - スタート時の前年比20%削減より、12月で10%削減レベルまで戻してきた
  - 適正な労働環境の確保を前提に、ワークスケジュール管理の強化、適正人員の確保等により、少しずつ営業時間を回復
- (2) 「既存店売上高」は着実に上昇傾向にあり、収益性も高まりつつある
  - 特に「ランチ営業」を復活させた店舗が大きく売上を伸ばしている
  - 「1時間当たり売上高」も順調に上昇

## 2. 新しい店舗営業組織体制の推進

- (1) 平成26年11月より、新しく地域エリア別の「支部体制」下でスタート
  - 店舗業態や店舗格付け等をベースとした「少数店ブロック管理体制」へ
- (2) 5～10店舗をフォローする「次長・課長」職の役割定着化がポイント
  - 現場に入り込んだオペレーション改善指導とブロック内でミーティングやクロスチェック業務等を行っていく

## 3. 新しい人事制度・賃金制度に基づく業務運営

(1) 平成26年11月より、従業員の業績評価に基づく処遇体系へ革新

- 課長職以上は「業績給」の支給算定式を鮮明に  
店長職以下は「賞与」「店格手当」「業績手当」等の各種手当を支給
- パート・アルバイト職は、新たに「評価査定(時給)制度」や「大入手当」を支給

(2) 従業員の働きやすい労働環境の構築及び定着化に向けて  
様々な人事制度を導入

- 「8連休制度(有給休暇の計画的取得推進)」「バースデー休暇」  
「シングルマザー(ファーマザー)手当」など労働組合との合意(36協定)の基に導入

(3) 従業員の「階層別研修」は、平成27年2月よりカリキュラム内容を  
大幅刷新して実施

- 職務遂行能力向上を目的に、より実務レベルに則した内容で戦力アップを目指す

## 4. MD(マーチャндаイジング)戦略の強化

- (1) 平成26年11月よりメニュー戦略の抜本的見直しを行った
  - 新メニュー等による「付加価値向上」、適正価格の実現などが中心テーマ
  - 下降傾向にあった売上総利益は、11月より+1%以上向上した
- (2) 平成27年1月より新しいイベント企画として『都道府県フェア』を月別実施
  - 全国の地方食材・地酒や郷土料理メニューを月別に取り上げて紹介
- (3) 「昼食(ランチ)メニュー」の強化
  - 例)「焼魚定食」「刺身定食」など・・・

## 5. 新しい店舗業態の開発

### (1) 新しい「専門店」業態の開発を強化中

- ① 『博多もつ鍋/お多福』 … 多摩センター、蕨、目黒、武蔵小杉
- ② 『ミヤビカフェ』 … 神戸/三宮、浅草橋、橋本(予定)
- ③ 『肉バル/ランプキャップ』 … 神田
- ④ 『鶏料理専門業態』 → 「鶏エビ寿」
- ⑤ 『カラオケ新業態』 → 「FLAT(長野/松本)」、「花(橋本)」(予定)
- ⑥ 『ワインバー』 →



- (1) 「新しい店舗営業組織体制」の基盤構築により、収益力アップを図る
- (2) 「新しい人事制度、賃金制度」の実践により、賃金水準の底上げを図りつつ、従業員のモチベーションアップを図る
- (3) 「新しい研修制度」の実践により、従業員のスキルアップを図る
- (4) 「流通改革」の取り組みによるMD戦略のさらなる強化  
→ 地方創生を背景に漁師から直接仕入れ、付加価値向上を図る
- (5) 「業績不振店対策」として新業態等への「改装(業態転換)」を積極展開
- (6) 「インバウンド事業」の本格参入

**【将来見通しに関する注意事項】**

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績見通し等に関する記述内容につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

従いまして、実際の業績等は、様々な要因により大きく変動する可能性があることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える要因としては、当社グループを取り巻く経済・社会情勢や市場環境、会計基準や法律・諸制度の変更などがあります。さらに、自然災害などの予測不可能なリスク要因も含まれております。

また、当資料は、当社グループをより深く理解いただくために、株主、投資家の皆様への情報提供を目的としたものであり、必ずしも投資をお勧めするものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

**IRお問い合わせ先**

担当部：株式会社大庄 経営企画部

電話：03-5764-2229

FAX：03-5764-2237